

陸前高田市の子どもたち

予測困難な社会を生き抜くために
本市の子どもたちに付けたい力



**確かな学力
人とつながる力**

令和5年度学校教育施策 ◆令和5年度の重点◆

「主体的な学びの力、人とつながる(関わる)力を育むために」

- ◎確かな学力を育む教育の推進
- ◎社会の変化に対応する教育の推進
- ◎学校不適応の早期対応・早期解決に向けた支援
- ◎配慮を要する児童生徒への支援の充実
- ◎幼児期から高校までの継続的な指導と支援の推進

確かな学力を育む教育の推進

◆各種学力調査の実施・分析・指導改善

年 2 回の学力検査（小学校 4 年生以上）

<年度前半の調査（4 月実施）>

→前年度までの子どもの学力の状況を把握し、新年度の授業改善に生かす

<年度後半の調査（10 月～12 月実施）>

→今年度の指導の成果を振り返るとともに、進級・進学につなげる

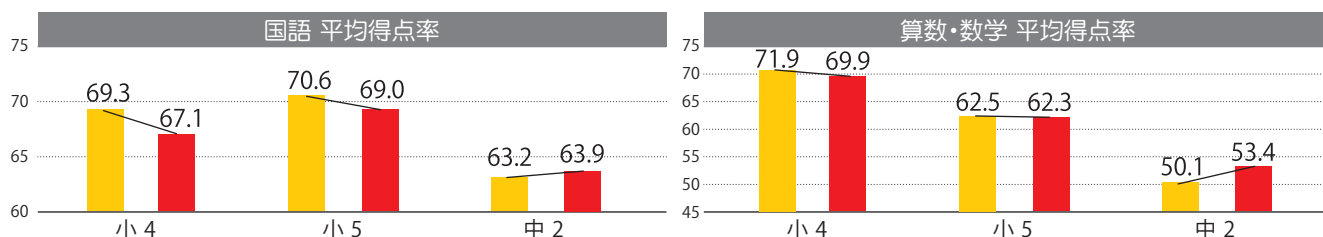


端末を利用した学び合いの様子（高田第一中）

～各種学力検査の結果と分析～

■は市、■は県、■は全国の割合を表しています。

【標準学力検査 CRT（小 4・小 5）／標準学力調査（中 2）の結果（令和 5 年 4 月実施）】

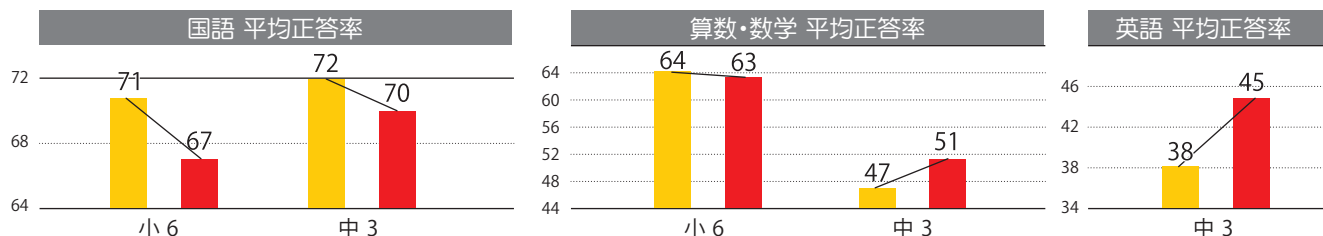


小学校…国語・算数ともに全国平均を上回っています。基礎基本の定着が見られます。

中学 2 年生…全国平均を下回りました。つまずきを分析し指導改善に生かしていきます。

【保護者の皆様へ】 特にも、算数・数学は小学校段階からの積み重ねが重要です。家庭学習でも取り組むようお願いします。

【文部科学省による全国学力・学習状況調査（小 6・中 3）の結果（令和 5 年 4 月実施）】



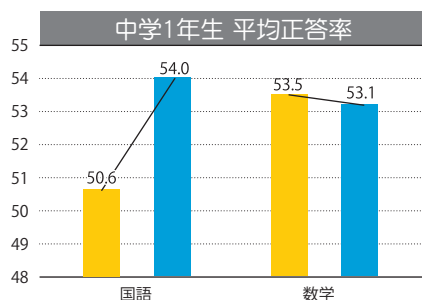
国語…小学校、中学校とも言葉の力が確実に定着しており、全国平均を上回っています。

算数・数学…中学校で論理的に考えて説明したり表現したりする力に課題が見られました。学び合いを重視した授業改善を進めます。

英語…情報を正確に読み取ることや自分の考えを英語で正しく書くことに課題が見られました。授業で目的・場面・状況を意識した言語活動を取り入れていきます。

【保護者の皆様へ】 家庭で文章問題に取り組んだり読書に親しんだりすることは、子どもの言語能力を育むことにつながります。意識的に取り組んでみてください。

【岩手県中学校新入生学習状況調査（中 1）の結果（令和 5 年 4 月実施）】



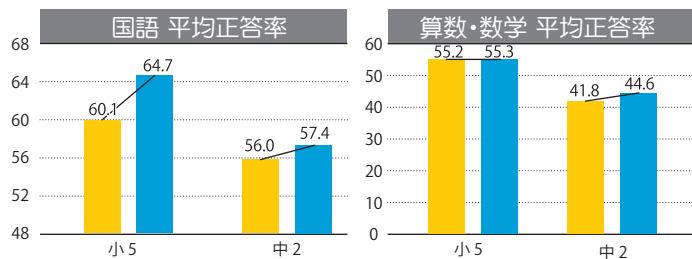
国語…文を要約する問題に課題
→書く活動の指導改善を進めていきます。

数学…小学校算数段階の技能は概ね定着しています。



自分の考えをワークシートに記入する様子（高田東中）

【岩手県小・中学校学習定着度状況調査（小5・中2）の結果（令和5年10月実施）】



小・中学校ともに課題が見られました。

国語…知識・技能の確実な定着を目指します。

算数・数学…授業において表現したり説明し

たりする機会を増やしていきます。

これらの調査に加え、標準学力調査（対象：小2～6、中1）、岩手県中学1年生英語確認調査（対象：中1）、岩手県中学2年生英検 IBA（対象：中2）も実施しています。

調査結果分析から見た課題点

国語科 基礎的・基本的な読み書きの力や文脈に沿って語句を適切に理解する力に課題

＜対策＞日常生活で、文字や言葉に親しむ機会を意図的に増やす

→ 学校や家庭で読み聞かせをする ・進んで図書館に足を運ぶ など

算数・数学科 小学校4年生ころから計算する力や説明する力に差が見え始める

＜対策＞家庭学習では、毎日継続的に算数・数学の学習に取り組むことが大事

答え合わせや間違い直しまですることで、確実に定着しているかどうか自分自身で確かめる



互いの考えを伝え合いながら学びを深めています。（小友小）



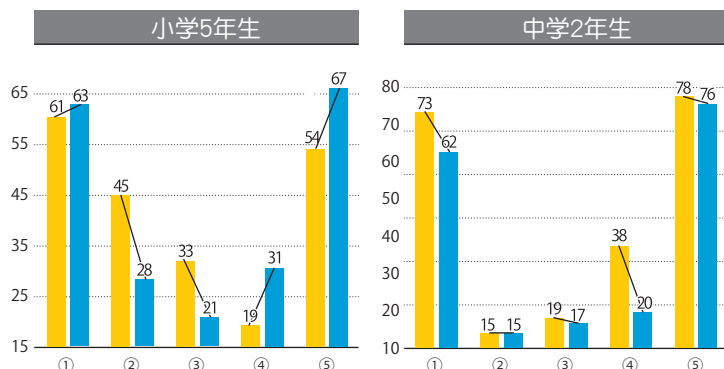
初めてタブレット端末を使用する1年生の様子（気仙小）

◆子どもたちの家庭学習の習慣づくりについて 学校と家庭が両輪となり「確かな学力」を育む

【令和5年10月実施 岩手県小・中学校学習定着度状況調査質問紙調査の結果より】

＜質問項目＞

- ①学校の授業以外に、平日1時間以上、勉強している。
- ②家で、自分で計画を立てて勉強している。
- ③学校の宿題に加え、弱点を克服する学習や発展的な学習をしている。
- ④学校の宿題だけでなく、自主的に学習に取り組んでいる。
- ⑤平日1時間以上、スマホを利用している。



小学校…自主的に学習に取り組むことに特に課題があります。

中学校…自分の学習の定着度に応じて、計画を立てながら学習に取り組むことが必要です。

- ・ゲーム・スマホ等利用時間のコントロール
- ・子どもの成長に合わせた家庭での励まし

自律的な
家庭学習習慣
の形成

社会の変化に対応する教育の推進

◆ICTの効果的な活用と教育の情報化推進

様々な場面での利活用

- ・一人一人の習熟に応じた学習
- ・グループでの意見交換
- ・電子黒板による分かりやすい提示等

新たな学び
の広がり



端末にダウンロードした画像を使って、友達に英語で説明しています。(高田第一中)



先生とのオンラインホームルームにも活用しています。(竹駒小)



小学1年生の学習においても、端末は日常的に使用しています。(高田小)

正しい「情報活用能力」の育成に向けて



スマホ等の情報端末の誤った使用は、トラブルに発展することがあります。市では情報を適切に活用する力を育てるため「リ九高ルール」を配付しています。

家庭での望ましいルールづくりや習慣作りが大切

◆複式学級における効果的な指導の在り方推進

複式学級の特徴

- ・一人一人に応じたきめ細かな指導ができる
- ・自立性・自主性が育ちやすい
- ・集団的な意見交換やグループ活動が不足しやすい

少子化の進行により、複式学級を展開している学校は増加傾向です。(令和5年度現在：小学校8校中4校)

市では「複式指導研修会」を実施し、効果的な指導の在り方を考えるとともに、地域の方々に複式学級の授業風景を公開し、これからの小学校のあり方について保護者や地域の方々と話し合う場を設けています。



複式学級では、情報機器を有効に活用しながら学習を進めています。(横田小)

◆学校・家庭・地域との連携・協働による教育の推進について

コミュニティ・スクールのしくみを
生かした学校と地域の協働的な教育

豊かな 心の育成



地域の方から地元の水産業や農作業を学んでいます。(米崎小・矢作小)



子どもたちの安心・安全に
つながっています。(高田小)



産業まつりに学校で参加しました。(竹駒小)

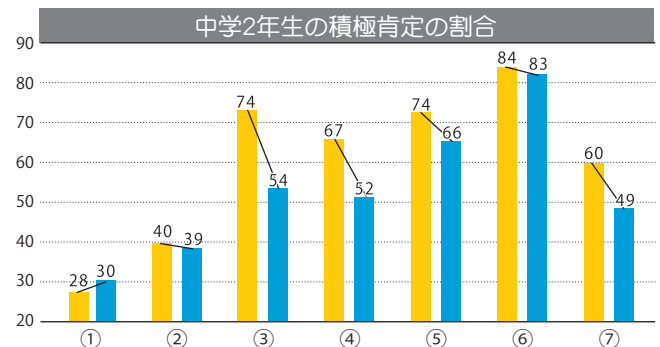
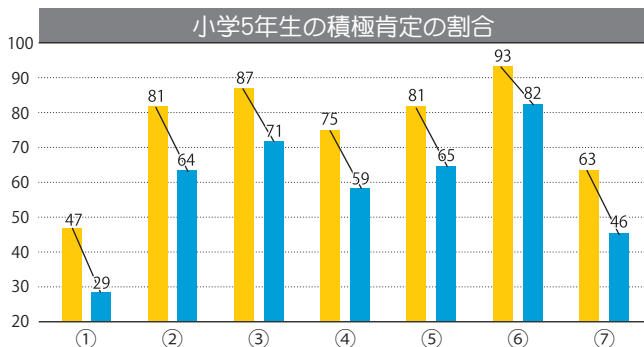
地域の方々との心温まる交流は、地域への愛着を育むだけではなく、安心・安全の確保や、自己肯定感・所属意識の高まりにもつながり、子どもたちの豊かな心を育てています。

【令和5年10月実施 岩手県小・中学校学習定着度状況調査質問紙調査の結果より】

<質問項目>

- ①自分にはよいところがあると思いますか？
- ②あなたは、将来の夢や目標をもっていますか？
- ③自分の住む地域には、良いところがあると思いますか？
- ④学校や地域が行う体験活動では、達成した喜びややりがいなどを感じることができましたか？
- ⑤人が困っているときは、進んで助けようと思いますか？
- ⑥いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか？
- ⑦学級には、授業中の質問や教科書の問題の答えなど、間違っても認め合える雰囲気がありますか？

■は市、■は県の割合を表しています。



・子どもたちは地域の温かさ・良さを確かに実感しています。

・地域の方々との心温まる交流は、子どもたちの優しさや思いやりなど、豊かな心の育成につながっています。

学校不適應の早期対応・解決に向けた支援

「児童生徒の居場所づくり・絆づくり」と「個に応じた計画的・組織的な支援」の充実のために

◆教育相談支援事業の推進◆

- ・教育相談員の配置
- ・巡回支援相談員の配置
- ・特別支援教育指導補助員の配置

→児童生徒一人ひとりの困り感にあわせたきめ細かな支援を進めるとともに、適切な学びの場が提供されるようにする。

◆スクールカウンセラーの配置◆

- ・市巡回型カウンセラーの配置
- ・スクールカウンセラー配置事業の活用

→県から配置されるスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーとも連携し、子どもや家庭に寄り添う支援を展開する。

◆適応支援教室の機能の充実◆

- ・陸前高田市ジャンプスクールの設置（旧高田東中学校）

→一人ひとりの子どもに合わせた弾力的な支援を展開する。子どもの教育や発達に関わる家庭との相談も推進する。

- ・学校での児童生徒一人ひとりへのきめ細かな配慮や、地域との温かな関わり、スクールカウンセラー等の適切な配置等が効果的に機能しています。
- ・本市の長期欠席（年間 30 日以上）出現率は極めて低い割合となっていますが、小学校に比べて中学校の長期欠席出現率が高くなっています。
- ・小学校高学年から中学校にかけては、仲間との関わり方や自分自身に対する不安が表面化する傾向があります。
- ・家庭で、子どもの声に耳を傾け励ましていくとともに、学校・家庭・関係機関が連携し、子どもの困り感に寄り添っていくことが大切です。



運動会で伝統の高小ソーランを披露しました。（高田小）



みんなで話し合ってメニューを決めて、おかし作りをしました。（小友小）



総合的な学習で潮風トレイルを散策しました。（広田小）



高田高校でかまぼこ作りに挑戦しました。（気仙小）

陸前高田市教育委員会では、子どもの「学力」「心」「健康・体力」を支えます。
教育相談も承ります。どうぞお気軽に声をおかけください。

陸前高田市教育委員会

〒029-2292 岩手県陸前高田市高田町字下和野 100 番地
TEL 0192-54-2111（代）

各種相談は、学校教育課（内線 523・524）まで。